

(公財) 北海道サッカー協会 強化指定審判員担当インストラクター

スキルアップ研修会①報告書

1. 日 時 令和6年4月13日(土) 9時～16時
2. 場 所 よつ葉アリーナ十勝1階研修室 A,B
3. 参加者 講師：村山 尚哉 (HKFA 審判委員会指導者部、サッカー1級審判インストラクター)
受講者：12名
4. 研修内容 **主な研修内容は以下のとおり。**
 - 開講式・自己紹介・アジェンダ説明
 - 講義① ・今シーズンお願いしたいこと
 - 講義② ・審判指導者制度・資質、心構え・指導者サイクル
 - 講義③ ・アセスメントレポートの手引きについて
 - 昼食・休憩
 - 講義④ ・強化指定審判員に求めるもの・動きとポジショニング
 - 講義⑤ ・アセスメントの目的・フィードバックの実践方法・評価・試合の観察
 - 講義⑥ ・事象の捉え方・指導 (フィードバック) 実践
 - 閉講式・振り返り・解散



シーズン開幕に向けて、強化指定審判員担当インストラクターのスキルアップ研修会を行いました。

28名の強化指定審判員の指導、評価を担当するにあたり、審判指導者としての資質や立ち振る舞い、テクニカルな内容まで幅広く共有させていただきました。講義③ではアセスメントレポートを適切に、審判員が納得する、誰が見ても審判員の良い点、課題点を把握できるような内容で作成するため、手引きの重要な部分をピックアップして説明、講義④では、今シーズン強化指定審判員に求める『判定』『動きとポジショニング』『マネジメント』『パーソナリティー』大きく4つの目標と質について確認、動きとポジショニングについては『最良のポジションをとることにより、正しい判定を下す』ために必要なことを映像を用いて確認、講義⑥指導実践ではエラーが起こってしまった映像を視聴して、なぜエラーが起こってしまったのか、要因から改善までをグループディスカッションしていただき、その後、実際に審判へフィードバックするところまでより具体的に、実践的に行いました。

審判員の成長、カテゴリーを左右する指導、評価を担うものとして、重大な責任を背負っている自覚を常に持ち、学ぶことを止めずに活動していきたいと思っております。

以下、参加者からのコメントです。



オホーツク地区 大石かおり
スキルアップ研修会では、アセッサーとしての心構えやアセスメントの注意点などのたくさんの知識を得ることができ、事象分析の難しさも実感しました。映像のない試合でのフィードバックにおいて、先入観を持たずにレフェリーがその事象を見えていた・見えていないなどの二通りを想定しておくことが必要であるということが特に強く印象に残りました。講義を受講して得たことを整理し、実践に活かす準備をすると同時に、インストラクターとしての責任の重さを再認識し、今後も前向きに学んでいきたいと思えます。

小樽地区 岸本拓洋

この度、強化指定審判員担当インストラクタースキルアップ研修会に参加させていただきました。

各講義から指導実践を経てフィードバックなど多角的に事象を見極め、優先順位を基に審判員へと伝える語彙力や表現など私自身が今後、学ぶべきことが明確になりました。

今研修会で学んだことをより深め、今後の活動へと繋げていきたいと思えます。

結びになりますが、今年度よりインストラクターとして活動させていただくことになりました。皆様ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



オホーツク地区 工藤雅人

この度、初めてインストラクタースキルアップ研修会に参加させて頂きました。「北海道トップレフェリーに求められているもの」を軸に、事象分析と評価の考え方や実際の方法について深く学ぶことができました。また、指導実践とその振り返りでは、「現場でどうすべきか」を頭の中でシミュレーションでき、今後に生かせる内容でした。この研修では、インストラクター・アセッサーとしてだけではなく、私自身のレフェリングに対しても大きな収穫を得たと感じます。今後の審判員育成、及び、審判活動に精一杯努めていきたいです。

